|  |
| --- |
| 令和６年度　　さいたま市立岩槻中学校だより　 ２月号　　　（令和７年１月３１日発行）挿絵 が含まれている画像  自動的に生成された説明 槻 の 若 木〒339-0054 岩 槻 区 仲 町1-14-35 　 電 話；048-756-0254　 　　　 FAX；048-758-7483HP ；<http://iwatsuki-j.saitama-city.ed.jp>　 M a I l ； iwatsuki-j@saitama-city.ed.jp |

「ゲームはなぜ楽しい」

校長　金子　宜史

　２月３日「立春」です。暦上で春が始まる日となります。でも、まだ寒く乾燥した日々が続きそうですが、皆様どうぞご自愛ください。3年生は、県公立高等学校等の受検が控えております。健康に注意し、力を発揮してくれることを願っております。春は、すぐそこまで訪れています。３年生に温かい応援をお願いしたいと思います。

さて、先日の新入生保護者会で、「親離れ・子離れ」の話をさせていただきました。

中学生の年頃は、思春期を迎え、心と身体に変化が生まれ、考え方もしっかりしてきます。反抗期もあり、大人から見れば難しい年ごろと言われることもあります。親が心配して、あれこれ干渉して口うるさくなると子どもは嫌がります。でも、子どもからみれば、やっぱり親は一番頼りになり、心を安定させてくれる存在です。

大人が子どもに手をかければかけるほど、子どもは選択するチャンスを奪われます。物事がうまくいかなかった時、自分で解決しようとせず、親や大人に依存してしまいます。「解決してくれるもの」「教えてくれないのが悪い」「教え方が悪い」と人のせいと考えてしまうのです。選択するチャンスもなく、言われた通りやってみて物事を成し遂げたとしても、はじめは嬉しくても、次第に「やらされ感」が強くなり、嬉しさや楽しさは薄れ、次第にそのことに興味をなくし中断していくのでしょう。

では、「なぜ、ゲームは夢中になる」のでしょうか？　私が毎日利用する電車の中でも、大人も学生も夢中になってゲームをしている姿を見かけます。私自身も気分転換のつもりではじめるスマホゲームですが、いつの間にか夢中になっている時があります。失敗した時は「今度こそ」と、新しい方法を考え、試して、時には攻略法を調べながら進めているのです。ゲームの中では「自分で決める」ことが多く、夢中になっていくのです。発達段階に応じた子どもの「自分で決め、実行する」ことを大切にしていきたいものです。保護者や大人の皆さんは、「教えすぎ」「与えすぎ」「手を掛けすぎ」等について、子どもはどう感じているのか聞いてみてはいかがでしょうか。

生徒の皆さんは、欲しくてたまらなかったゲームやスマホを保護者の方から与えてもらった際、保護者の方と決めたルールがあったと思います。「何時まで」「宿題を終えてから」「自分の部屋には持ち込まない」等です。そして、ゲーム・スマホ依存のことや犯罪につながる恐ろしさも知っているはずです。正しい使い方や約束を元に「自分で決め、実行する」、目標に向かって「自分で決め、実行する」、次の進路や学年への準備として、自律した行動を更に高めてください。選択するチャンスも増えていくことでしょう。